

AMBITION

北海道大学病院 臨床研修センター Resident NEWS letter

2016season1 (5) H28.4.1 発行



臨床研修センター
平野 聡 センター長

「研修病院はどうやって選ぶ？」 ～救急患者の診療件数に関する都市伝説～

卒業年次が近づいている学生さんにとって、研修病院選びは重大なテーマですね。今や複数の病院を見学するのが普通の事になっていますが、多くの研修病院の中からどうやって候補病院をしぼるのには大きな問題です。実際に施設を見る、先輩の評判を聞く、業者の広告を参考にすると、多くの情報の中で何を重要視するべきでしょうか。

昨今の傾向として、研修中にどれだけ多く救急患者を診られるかが人気のポイントとなっているようです。それって、本当に重要なのでしょうか？確かに、「研修修了後に救急患者さんに遭遇し、一人で上手く対処できなければ大変な事になる⇒少しでも多くの救急患者を診ておけばそのようなリスクを回避できる」の理論は心情的には理解できるものです。しかし、そこには大きな落とし穴があります。それは、実際の救急患者となり得る疾患が多岐にわたる事と、たとえ同じ診断としても患者ごと、

その病態には多くのvariationがあること考えると、2年間で診ることができるのはごくごくわずかな例でしかなく、その後の臨床で全く同じような状況に遭遇する可能性がきわめて低いことは明白です。また、目の前の患者さんに対する適切な診断と治療が一对一对で即決できない事が多いのも事実です。逆に、Common diseaseや試験の症例問題に出てくるような典型的な患者に対する治療経験は何度も必要ではありません。

研修医に必要なのは最低限の重要な疾患やcommonな疾患、あるいは人命に関わる緊急性のある現場の対処を数回経験したなら、その経験をもとに知識を広げ、トレーニングで技術を身につけ、次の似た状況に直面した時に応用力と勇気をもって対処する力です。自分の過去の経験を頼りにしていると、未体験な状態に遭遇すると思いが停止して対処が遅れ、救急患者や急性期にある患者を治すことが出来ないという事態に陥りがちです。事実、「こんな病態は経験したことがない、ただあの時の少し似た経験と教科書的知識から考えると、この処置をすればなんとか助けられるに違いない」と思っている治療、「これは100点ではないかもしれないけれど、こうすることは間違っていないはずだ」と思っている治療など、日常的にはよくあるものなのです。都市伝説的な発想を捨て、「考え応用する力を養い、勇気をもって治療にあたる医師」を目指し、研修先を選択しましょう。相談は臨床研修センターまでお気軽にどうぞ。

リレー企画！ アドバンスト研修で臨床に強くなる！！ 第2弾

前号より新たに加わった5つの部署(超音波センター／臨床研究開発センター／臨床遺伝子診療部／感染制御部／検査・輸血部)での研修の様子をご紹介します。北大だからこそできる研修で、一步先行く研修医をめざそう！



臨床研究開発センター
佐藤 典宏 教授

医学部を卒業したら、「あいつは基礎、オレは臨床」とか、「最初は臨床研修を受け、一時は基礎研究を行って学位を取り臨床に戻る」とか言ったりしていませんか？基礎と臨床、そんなに明確に区別すべきでしょうか？

世の中には十分な治療法のない患者さんがたくさんいます。標準治療が確立していない疾患も多々あります。これらを克服するには、臨床的視点のない基礎研究者や目先の診療にしか関心のない臨床医ではダメで、実用化を視野に入れる研究者、リサーチマインドを持った臨床医が重要です。そしてこれらを支援するのが「臨床研究開発センター」です。「明日の医療を創出する」ため、是非当センターにお立ち寄りください。

臨床研究開発センター

明日の医療を
創出する



研修した先生に聞きました！



平成27年度2年目研修医
菊地 恒矢 先生

私は将来的に臨床研究に携わることが多くなるだろうと思い、臨床研究開発センターでの研修を選択しました。

第一号ということで先生方やスタッフの方々とカリキュラムを相談しながらの研修でしたが、非常に有意義な一ヶ月間だったと感じています。私の場合の目標の柱は、前向き研究の研究計画書を自分で作成してみるというものです(研修なので実際に用いるわけではありませんが)。エビデンスが確立されていない処置を患者さんに施すことを想定しているので、記載事項は多岐に渡り、また厳しくチェックされます。決して易しい目標ではありませんでしたが、実際に作り上げたことは自分にとって大きな自信となりました。他にも各部署で多くのレクチャーや施設見学を受けさせていただきましたが、通常の研修では触れることのない非常に貴重な経験だったと実感しています。

別れの季節・・・平成27年度 研修修了発表会

平成27年3月11日(金)に北海道大学医学部フラテホールにて平成27年度北海道大学病院初期臨床研修修了発表会が開催され、39名の2年目研修医の中から、厳正な抄録審査で選ばれた13名が、SEA(Significant Event Analysis)の手法を用いて最も印象に残った出来事を発表しました。

Most Impressive Presenter 2015

Gold Prize

菊地 恒矢 先生
「はじめてのStudy ～国際学会に向けて～」

Silver Prize

山本 祥太 先生
「最期まで家族のために職場復帰を切願し、腎癌全身転移と闘病し続けた若い男性の1例」

Bronze Prize

在原 房子 先生
「想いを叶えることの難しさ」

研修医特別賞

今本 鉄平 先生
「患者との強いつながりを感じた1例」



受賞された先生方、おめでとうございます！
そして修了されたみなさん、2年間お疲れさまでした！！

春の病院見学会・プログラム説明会



3月24日(木)に春の病院見学会・プログラム説明会を開催いたしました。夏(8月)と春(3月)に毎年開催しているこの会ですが、今回は全国から30名の学生さんに申込みいただきました！近くはもちろん北海道、遠くはなんと沖縄からお越しいただきました。

短い時間でしたが、見学者のみなさんに感想を聞いてみると、「研修医とのランチ座談会で沢山の話(裏の情報も?)が聞けた」「希望の診療見学で科の雰囲気わかりモチベーションが上がった」など嬉しい言葉をいただきました。次回は8月12日(金)！お気軽にご参加ください。

当日のプログラム
・研修医とのLunch座談会
・Back Stage Tour など

イベントカレンダー(H28.4-H28.9)

- 4/1～7 H28研修医オリエンテーション【研修医】
- 4/ 5 新規採用者多職種合同研修／合同歓迎会【研修医】
- 4/17 北海道庁合同プレゼンテーション【医学生】
北海道研修医懇親会【研修医】
- 4/21～ 北大病院 院内 健康診断【研修医】
- 4月下旬 北大病院 研修医歓迎懇親会【研修医】
- 5月 北大病院初期研修医 第1回 定期面談【研修医】
- 6/23 平成29年度プログラム採用試験 申込み開始【新6年生・既卒生】
- 7/17 レジナビフェア2016 in 東京【医学生】
- 8/ 6 平成29年度プログラム第1回採用試験【新6年生・既卒生】
- 8/12 夏の病院見学会・プログラム説明会【医学生】
- 8/13 平成29年度プログラム第2回採用試験【新6年生・既卒生】
- 8/26 第2回新規採用者多職種合同研修【研修医】
- 9/23 鹿児島地域医療研修希望締め切り【研修医】

新年度スタート！オリエンテーション

3月29日(火)に1年目Bコースオリエンテーションを行いました。たすきがけ病院での研修が始まる前の研修医が大集合し、病院長・平野センター長からの激励をうけました。

同期研修医の自己紹介も聞いて、気合いは充分！！ひとまわり成長して、1年後元気に会いましょう。



研修センターのつぶやき

新年度より卒後臨床研修センターは、新専門医制度(後期研修)の窓口となり、「卒業直後」の冠が取れて「臨床研修センター」に改組されました！皆さんのキャリア支援をさらに強力に進めてまいりますので、引き続きよろしくお願ひ致します！！

次号のお知らせ

「アドバンス研修で臨床に強くなる」第3弾！
北大プログラム最大限活用★【9月発行予定】

ご意見・お問い合わせ ★ご意見お待ちしております

北海道大学病院 臨床研修センター
〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目

Tel: 011-706-7045 Mail: sotsugo@med.hokudai.ac.jp

名前が変わりました！